



## 学校教育目標について

本日、お話集会がありました。毎年、最初のお話集会では学校教育目標について子供たちに話をしています。

本校の学校教育目標は「考える子」「思いやりのある子」「がんばる子」です。

「考える子」については、「授業を大切にできる子」「規則正しく、友達と学び合える子」「よく考え行動できる子」自分で判断して行動できるようになって欲しい。

「思いやりのある子」については「ともだちを大切にできる子」「自然を大切にできる子」「ものを大切にできる子」人に優しく、まわりに感謝の気持ちをもって欲しい。

「がんばる子」については「嫌なことがあっても負けない子」「努力できる子」「チャレンジできる子」心も体も健康に育てて欲しい。という話をしています。

また、普段の生活の中で、実践して欲しいこととして「あかじそチャ」の話もしています。「あいさつをしよう」「感謝の気持ちをもとう」「時間を守ろう」「掃除をしっかりとしよう」「何事にも積極的(チャレンジ)に」の頭文字をとって「あかじそチャ」という合い言葉にしています。その中で、あいさつについては、毎回子供たちに話をしています。あいさつは相手の存在を認めていますという意思表示にもなります。お互いを認め合い、尊重し合える関係ができると良いと思っています。

小学校の時期は、人としての基礎を作る大切な時です。とかく、学力や知的な側面に関心が偏りがちになりますが、「豊かな心」や「たくましい体」をこの時期にしっかり育まなければならないと考えます。それは学校だけでできることではありません。学校、家庭、地域で協力して子供たちを育てていく必要があります。

大石小学校の子供たちをみんなで、健康でたくましく心豊かな人として育てていきましょう。

### ほほえましい光景

先日、登校時に用務員さんが校庭の三旗を掲揚していると、1年生が来て手伝いを始めました。その光景はなんとなくほほえましさを感じました。ただ、興味があっておこなった行為かもしれませんが、子供が年長者を気遣っている、また、年長者も子供を気遣っている、そんな人間関係が普通であることは素晴らしいですね。

